

報道関係者各位

水ing株式会社

## 恵庭市で北海道内最大規模の消化ガス発電事業開始

水ingグループの水ingエンジニアリング株式会社（社長：池口学、本社：東京都港区）は本日、北海道恵庭市の「恵庭下水終末処理場」でバイオガス発電事業を開始いたしました。

本事業は、民間の資金とノウハウを活用した民設民営方式により、下水処理工程の際に発生する消化ガス（メタンガス）を有効活用し発電事業を行うものです。発電容量は、下水消化ガス発電事業で道内最大規模となる450kWを予定しており、化石燃料やCO<sub>2</sub>の削減に貢献します。

同社は、恵庭下水終末処理場内に自己資金で発電設備を建設、恵庭市から購入した消化ガスを燃料として発電を行い、「再生可能エネルギーの固定価格買取制度（FIT法）」を活用、その電気を売却した資金で20年間の事業運営を行います。当社グループが手掛ける発電事業として、鶴岡市・守谷市・岩手県・富山市・金沢市に続き6件目となります。

水ingグループでは、今後も下水道事業の持続と環境負荷対策に貢献してまいります。

### 【事業概要】

- 事業名：恵庭下水終末処理場バイオガス発電事業
- 施設：消化ガス発電設備 一式（発電容量450kW、ガスエンジン50kW×9台）
- 事業期間：2020年4月1日～2040年3月31日（20年間）
- 総発電量：約60,000,000kWh（事業期間における総発電量）
- 施設所在地：北海道恵庭市中島松453（恵庭下水終末処理場内）



消化ガス発電設備